

【EU】欧州委員会、COVID-19 データ共有プラットフォームの運用を開始

欧州委員会は4月20日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する調査データの迅速な収集、共有を可能にする「欧州 COVID-19 データプラットフォーム」の運用を開始した。EU加盟27か国の研究開発担当大臣らは4月7日、COVID-19対策においてEU加盟国間の結束をより強化するため、欧州研究圏（ERA）の全体方針である「ERA vs Corona アクションプラン」の短期集中的な優先10項目の取り組みについて承認した。その一環である同プラットフォームは、コロナウイルスと闘う欧州や世界の研究者を支援することを目的としており、オープンで、信頼性の高い、拡張性のある環境を研究者に提供し、DNA配列、タンパク質構造、前臨床研究および臨床試験データ、疫学的データなどのデータセットを保存し、共有することを可能にする。欧州委員会は、迅速かつオープンなデータを共有することで研究や発見を加速させ、COVID-19への効果的な対応策を実現する同プラットフォームについて、欧州バイオインフォマティクス研究所（EMBL-EBI）、全欧生命科学情報基盤「Elixir」、EU加盟各国などのパートナーとの緊密な協力による成果であるとしている。また、同プラットフォームは、域内研究データ基盤である欧州オープン・サイエンス・クラウド（EOSC）の目標を実現するための先行の役割を果たし、EMBL-EBIと各国の公衆衛生当局のデータインフラを結ぶ既存のネットワークを活用するという。